

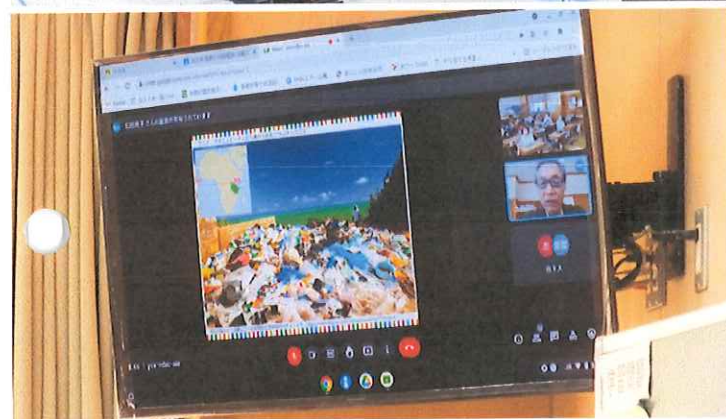
別記様式第5号（6の2関係）〔1枚目〕									
佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書									
					評価日		令和4年 1月 10日		
団体名		佐久平浅間小学校PTA							
事業名		みらいへつなぐプロジェクト～佐久平浅間小学校から世界へ～							
対象経費		38,760 円		支援金交付対象経費		38,760 円			
支援金額		19,000 円							
事業 の 目 的 ・ 内 容	目的								
	感染症の影響や学校の増築工事によりおおぞらまつりの開催が難しく、新しい形でのPTA活動を企画 ●中止にならない持続可能かつ保護者と教員が子ども達のためにできる活動 ●みらいを創り担う子ども達が「自分は社会の中の大切なひと」と実感できるような活動をする ●学校目標「みんなの中でわたしになる」～チガイをチカラにかえる学校～を後押しする活動 ●PTA活動にSDGsを取り入れ、「誰一人取り残さない社会の実現」を目指す								
事業 の 活 動 実 施	内容								
	1.SDGsを深く知る 学校にて 2.循環型社会を実現(低学年)学校にて 3.信州プラスチックスマート運動(高学年)学校にて 4.SDGsロゴの巨大手形アートにチャレンジ!(全校児童、PTA)学校にて								
1.SDGsを深く知る 学校にて 令和3年7月1日PTA本会役員向けに長野県NPOセンター、さくさぽから講師をお招きし、出張授業を受講。後日、全世帯へ向けて授業の様子をYouTube配信。令和3年11月24日、児童向けに長野県NPOセンターから講師をお招きし、低学年、中学年、高学年向けに内容を分けパソコン室から各教室のテレビを使いオンラインで出張授業を受講。講師のパソコンからも各教室の様子を見ることができ、手を振るなどのコミュニケーションもとることができました。「SDGsは世界みんなが目指すゴール」をテーマに「学校へ行かない5～7歳の子は世界にどれくらいいるでしょう」などクイズも入れ、45分の授業を行いました。 2.循環型社会を実現(低学年)学校にて ダンボールコンポストから、木で作ったコンポストに変更し1年2組が飼っているヤギの糞から堆肥を作り、来年度各クラスの畑に蒔く。 3.信州プラスチックスマート運動(高学年)学校にて 4.SDGsロゴの巨大手形アートにチャレンジ!(全校児童、PTA)学校にて の2項目については、学校とも何度も協議し新型コロナウイルスや学校増築等、様々な要因が重なり今年度中の活動は難しいという結果になりました。									
写真別紙									

事業の成果・効果	PTA本会役員向けのSDGs出張事業では本会役員役20人が先生数名出席しました。4人1チームに分かれ授業を受けた後、各チームごとディスカッションを行いました。ディスカッションでは日々の生活から職場でしているSDGsの活動まで幅広く話し合うことができました。佐久平浅間小学校PTAの活動もSDGsに結び付けられるものが数多くあると実感できました。「私がしているSDGs」では新しく始めなくても、もう行動していたことに気づくことができました。また「みんなで一緒に取り組みたい活動」では「貧困家庭を含む子供の教育レベルを上げたい」と新しい課題を見つけ、新しく取り組んでいきたいと言った声も挙がりました。 佐久平浅間小学校では「届けよう、服のチカラプロジェクト」を児童会でおこなっているため、SDGsについて身近なものでした。そのためオンラインでのSDGs授業は45分間、集中して授業を受けることができました。「世界では五人に1人の子どもが学校に行かずに働いていることにびっくりした」「知ること、想像することが大切だと思った」「自分は宝物」などの感想がありました。 ヤギの「ちゃい」を飼っている1年2組の児童からコンポストを作りたいという意見をもらい、一緒にコンポストに取り組みました。1年2組の児童達はとても喜んでくれて毎日ヤギの世話をする際にコンポストを使っています。今年度ヤギを飼っているのは1年2組ですがヤギは佐久平浅間小学校のヤギなので、飼うクラスが変わっても佐久平浅間小学校で暮らしていきます。			
自己評価	事業は申請どおり実施できた 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について その他、評価すべき点等	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 新型コロナウイルスの感染拡大や、さまざまな要因で活動ができないものもありましたが、概ねできたと感じています。 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 PTA、児童みんなでSDGsを学び、自分ができていることを考えられたことが大きな成果でした。 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) できなかった活動があり変更がありました。 実行できなかった活動についても学校側と何度も話し合い、先生とも積極的に意見交換ができ一致団結することができました。		
※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。				
の事業	SDGsの活動は持続可能で身近なことから始められると実感できたので翌年以降も継続していけると期待できる。コンポストの肥料作りはヤギを飼っているクラスを中心にこれからも行なっていきます。箱の修理等、児童では難しいことをPTAでサポートしていきます。			

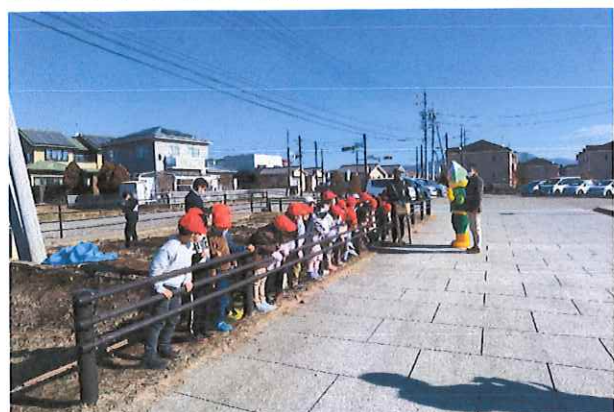
2021年7月1日 本会役員向けSDGs出前授業



2021年11月24日 児童向けSDGs出前授業



2021年12月14日 コンポスト完成





みらいへつなぐプロジェクト

～佐久平浅間小学校から世界へ～

佐久平浅間小学校PTA会長

小山 仁志

プロジェクトリーダー

瀧沢 侑花

サブリーダー

馬場 真里

「自分は社会の中の大切なひとり」と実感できるようなみらいへつなぐ活動をする

学校目標の後押しが出来るような活動をしていく

児童会や近隣の高校、さまざまな団体とも積極的に連携し、共存を実感する

さまざまな物事から自分に必要なことを選んで決めていくチカラをつける



7月1日にSDGsの出前授業をPTA本会役員で受講しました

長野県NPOセンターから小林様、さくさばから佐々木様を講師としてお迎えし、SDGsってなんだ？をテーマに授業を受けました。

佐久平浅間小学校PTAの活動もSDGsに結びつけられるものが数多くあると実感しました。



SDGsとは？

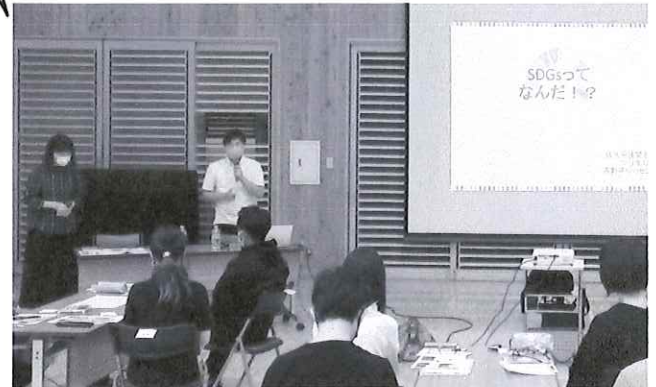
SDGsとは「Sustainable Development Goals」

＊直訳すると「持続可能な開発目標」の略称です。

2015年9月の国連サミットで採択されました。

SDGsの理解の深まりが、課題を発見・解決するきっかけに...

- ・自治体や企業やNPOが「共通言語」として活用
- ・社会にある問題の全体像をつかもうとする時に参考にする。
- ・取組んでいる活動や関心ごとが他の社会、世界とつながっているという実感がもてる。
- ・活動に新しさを加味できる。
- ・活動の仲間を増やす機会となる。
ex 環境×子ども×災害×地域間格差×多文化共生×平和



SDGs出前授業を受けて本会役員から出た例

私がしているSDGsに結びつく行動

- ★選挙に必ず行く
- ★エコバックの利用
- ★クールビズ
- ★リサイクル品を使う
- ★布おむつ、布ナプキンの使用
- ★節電、太陽光発電の設置
- ★食べ物を残さない
- ★農薬を使わず益虫を利用する(アブラムシにはテントウムシ等)

普段の行動もSDGsにつながっていますね



これからやろうとしている行動

- ★職場に自転車で行く、車に乗る回数を減らす
- ★ゴミの分別、食品ロスを減らす
- ★電気自動車に乗る
- ★サステイナブルシーフードについて調べる
- ★肉を控えめにする
- ★服、靴のリサイクルに取り組む



みんなで一緒に取り組みたい行動

- ★子供と一緒にSDGsについて学びたい
- ★企業としてダイバーシティ&インクルージョンを取り入れている(個々の「違い」を受け入れ、認め合い、生かしていくこと)
- ★エコキャップ集め、服のリサイクル
- ★家族で時間を合わせてお風呂に入る(バラバラで入るよりもエコ)
- ★夏野菜が採れすぎた時、畑に廃棄せず利用したい
- ★貧困家庭を含む子供の教育レベルを上げたい



出前授業の内容を20分の動画にして分かりやすくまとめました！
YouTubeで見られますので、ぜひご覧ください。
こちらは保護者向きです。
お子さんにも簡単に教えられる内容です。ご家庭でも出来ることから始めてみましょう!!
児童向けにも授業が出来るよう調整中です。

YouTube
チャンネル

QRコード

SDGs授業の動画